

第107回全国高等学校野球選手権宮城大会

□大会第10日目 7月22日(火)

準々決勝		石巻市民球場		2時間 29分				打安点盗犠四三残失併												
利府	2	0	0	0	0	0	3	0	【利】	31	7	4	0	2	4	5	5	2	2	
東陵	0	0	1	0	3	1	1	0	X	【東】	29	7	5	2	3	8	9	10	0	0
(11:01~11:07)										▽本塁打		佐藤利(利), 赤間(東)								
(球) 曽根徳明 (一) 佐藤圭 (二) 村上大輔 (三) 細川和行										▽三塁打		なし								
【利】 中澤, 佐藤堅 — 大倉, 佐藤利										▽二塁打		なし (利)								
【東】 幸, 赤間 — 地紙																				
▽暴投 中澤2(利) ▽捕逸 地紙1(東)																				

【評】

第3シード東陵対第5シード利府の対決となった。利府は1回表、2死1塁から4番佐藤利樹の右越え2点本塁打で先制した。追う東陵は、3回裏無死満塁から遊撃ゴロ併殺の間に1点を返した。5回裏には、1死満塁から3番赤間の右越え3点本塁打で逆転した。6回裏には、利府の中沢投手が疲れからか制球を乱し、安打と2四球で2死満塁から2番番渡に押し出しの四球を与えた。7回裏には、1死2塁から6番菊田が右前適時打で、6点目をあげた。8回表利府は、四死球と3安打で3点をあげ、1点差まで追いつけたが、6対5で東陵が逃げ切った。

準々決勝		石巻市民球場		2時間 13分				打安点盗犠四三残失併											
東北学院榴ヶ岡	0	0	0	3	0	0	0	0	【東】	29	6	2	0	3	2	8	4	2	0
仙台商業	1	0	0	0	0	0	0	0	【仙】	32	4	1	1	1	1	8	6	1	1
(球) 布田秀斗 (一) 鶴田代志昭 (二) 浅野雅訓 (三) 邊見豪志										▽本塁打		なし							
【東】 伊藤, 佐々木健 — 佐々木大										▽三塁打		なし							
【仙】 井口 — 道下										▽二塁打		なし (東)							
▽暴投 伊藤1(東) ▽捕逸 なし																			

【評】

ベスト4最後の一戦をかけての一戦、先制したのは仙台商であった。初回に安打で出塁した走者を犠打と暴投で進め、二死三塁から4番道下の適時打で1点を奪った。しかし迎えた4回表、東北学院榴ヶ岡が無死満塁の好機を作り、犠飛と適時打に相手の失策を絡めて一挙3点をもぎ取った。逃げ切りを図る東北学院榴ヶ岡は、5回から背番号1佐々木健斗がマウンドへ。佐々木は内角への直球が冴え、相手打線を寄せ付けず僅か1安打の無得点に封じた。仙台商の井口は9回131球の熱投であったが、打線が援護できなかった。